

令和5年度 阿久比町教育委員会  
事務点検・評価報告書  
(令和4年度実施事務事業)



令和5年9月  
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

本報告書は、令和4年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

令和5年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目 次

I	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の構成	4
2	新教育委員会制度への移行	5
3	総合教育会議の開催状況	5
4	教育委員会会議の開催状況	5
5	教育委員会後援名義使用の状況	5
6	学校訪問の実施状況	6
7	教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）	6
II	教育委員会施策の自己点検・評価	
	○学校教育関係	
1	幼保小中一貫教育の推進	8－9
2	学校施設及び設備の整備・改修等の推進	10－13
3	特別支援教育の充実	14
4	安全安心な学校給食センター運営	15－16
	○社会教育関係	
5	生涯学習推進事業	17－18
6	多様な学習機会の提供	19－20
7	魅力ある図書館づくりの推進	21－23
8	スポーツ施設及び設備の整備等の推進	24－26
III	学識経験者の意見 教育委員会事務評価委員会報告書	
	評価結果	28－32

# I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

令和5年4月1日～令和5年9月30日

役職	委員名	任期	備考
教育長	竹内 淳	R5. 4. 1～R8. 3. 31	
教育長 職務代理者	竹内比名子	R1. 10. 1～R5. 9. 30	
教育委員	中條屋由香里	R2. 10. 1～R6. 9. 30	
教育委員	稲葉 清仁	R3. 10. 1～R7. 9. 30	
教育委員	竹内 賢司	R4. 10. 1～R8. 9. 30	

令和4年10月1日～令和5年3月31日

役職	委員名	任期	備考
教育長	竹内 淳	R5. 1. 1～R5. 3. 31	教育長 不在期間 R4. 10. 1～ R4. 12. 31
教育長 職務代理者	竹内比名子	R1. 10. 1～R5. 9. 30	
教育委員	中條屋由香里	R2. 10. 1～R6. 9. 30	
教育委員	稲葉 清仁	R3. 10. 1～R7. 9. 30	
教育委員	竹内 賢司	R4. 10. 1～R8. 9. 30	

## 2 新教育委員会制度への移行

平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」を設置する、新教育委員会制度に移行することが決まった。施行日において在職中の教育長の任期が満了するまでは従来の制度が存続するため、阿久比町では平成29年4月1日をもって新制度に移行した。

新制度移行により、従来の教育委員長及び教育委員長職務代理者は廃止され、新「教育長」及び教育長職務代理者が新たに設置された。なお、教育長の任期は4年から3年に変更となった。

## 3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成27年度に町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。令和4年度は令和4年8月17日（水）に阿久比町役場会議室101で開催し、下記の議題について検討した。

議 題 「阿久比中学校部活動の地域移行について」  
「学校選択制の現状と今後について」

## 4 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例及び臨時教育委員会会議を開催し、議案37件の審議を行った。

実施期間 令和4年4月～令和5年3月  
定例会 12回 臨時会 2回

## 5 教育委員会後援名義使用の状況

過去に承認済で、かつ継続して後援名義使用の事業については、事務局による書類審査にて、また新規申請事業については教育委員会会議において申請者に説明を求め、質疑応答、審議し可否を決定した。

申請数 45件 許可 45件

## 6 学校訪問の実施状況

学校参観という形で、教育委員や教育長、教育委員会の職員が学校へ出向き、授業等を視察した。その後、学校・園幹部と、授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する園児・児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについてより良い学校・園運営のための意見交換を行った。

開催日	学校名	備考
5月26日(木)	英比小学校	
6月17日(金)	東部小学校	
6月23日(木)	ほくぶ幼稚園	
9月15日(木)	南部小学校	
9月29日(木)	阿久比中学校	
10月13日(木)	草木小学校	

## 7 教育委員のその他の主な活動(会議・行事等への参加)

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
  - ・教職員辞令伝達式
  - ・愛知県市町村教育委員会連合会定期総会
  - ・知多地方教育事務協議会
  - ・知多地方教育委員研修会
  - ・阿久比町教育支援委員会
  - ・小中学生海外派遣事業実施委員会【中止】
  - ・小学生海外派遣事業及び中学校海外家庭生活体験事業報告会【中止】
  - ・現職教育発表会
  - ・いじめ等問題対策連絡協議会
  - ・二十歳の祝典
  - ・青少年健全育成推進大会
  - ・生涯学習フェスティバル
  - ・文協まつり
  - ・書き初め大会
  - ・凧あげ大会
  - ・ダイヤモンド婚者、金婚者お祝いの会
  - ・野外音楽会
- など

## Ⅱ 教育委員会施策の自己点検・評価



施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
-----	---------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

**【施策の概要】**

- 中学校3年生における「めざす生徒像」を定め、阿久比町の子どもたちに生きる力を身につけさせ義務教育を修了できるよう取り組んでいる。阿久比町内全ての大人が子どもたちに関わり、阿久比町全体が学び舎となって、子どもを育てることを目指している。幼保小中の職員(保育士・教諭)、そして保護者や地域や行政職員を加えプロジェクトを組織し、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の実現に取り組み、今日的課題に対し、活動の在り方や方法を模索し、見直しを進め、阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトのさらなる浸透を図る。

**【令和4年度の実施状況『4部会の取組』**

＜幼保小接続部＞

幼保教員・保育士の小学校研修、小中学校教員の園研修など、幼稚園・保育園と小学校の接続に焦点を当てた取組を計画した。5月に行う予定だった小学校体験研修(前年度に幼稚園・保育園の年長クラスを担当した先生方が行う)(ここ2年間紙面での情報交換のみ)は9月～12月に時期を変更して行った。また、夏休みに行う予定だった小中学校教員の園研修は、新任教諭のみ1月に草木保育園で行った。参加者は園教育と今の自分自身の学校での様子を見比べ「きめ細やかな指導の在り方」について学ぶことができた。同じく1月に3年ぶりに対面で町一斉幼保小交流会を行った。園からは「1年生の発表会で校歌が披露されたのはよかった。」小学校からは「年長児と一緒に活動することで、1年生がもうすぐ上級生になるという意識がもてた。」等の報告があった。また、新たに令和4年度に「運動実技研修会」(幼稚園と保育園の担任が、小学校低学年の体育の授業で行っている運動の実技研修)を行った。小学校低学年で行われている運動遊びの体験を通し、各園の園児の活動につなげることができた。



【園児と小学1年生との交流】

＜小中接続部＞

小学校と中学校の接続に焦点を当てた取組を継続して行う計画を立てた。計画をしていた「冬休み部活動体験」では小学6年生の児童が中学校を訪れる予定だったが、昨年度に引き続き、コロナウイルス感染症拡大で中止とせざるを得なかった。中学3年生代表が母校を訪れ中学校生活についての質問に答えて交流する「中学校の先輩の話聞く会」は12月に実施できた。昨年度よりICTを用いて小学生から事前に質問を集約したため、より具体的に話をすることができた。直接的な交流に制限がかかる中、昨年度に引き続き、教師の異校種間交流を進めている。小学校教諭が中学校で、中学校教諭が小学校で授業をする機会を研修を兼ねて設定した。「段差なき教育」につなげるため、参加できる人数を今後も増やしていきたい。また、中1ギャップを防ぐ



【中学校の先生による出張授業】 【先輩の話聞く会】

ために入学前の児童が楽しみにしていること、不安に思っていることをICTを用いたアンケートにより把握し、入学後の生徒理解の参考資料とした。年度初めの学年集会等での話題などに活用した。

#### <啓発連携部>

啓発連携部では、従来から取り組んでいるノーメディアデーや学びウィーク、親子ふれあいキャンペーン、幼保小中高一貫あいさつ運動を進めた。また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、地域の教育力の取組も進めた。「土曜学習」は感染状況を見ながらを徐々に活動を再開していくことができた。「幼保小中高一貫あいさつ運動」では、中学校では、民生児童委員のみなさんも一緒となり、ともにあいさつ運動を行った。お互いに顔を見合わせることで、中学生も地域に見守ってくださる方が多くいることを知ることができた。「学びウィーク」は、各校での取組の様子を共有して、来年度は学びウィーク最終日に学習の成果を確認するテストを各学校で行うことを共通認識とした。



【幼保小中高一貫あいさつ運動(民生児童委員の方々)】

#### <特別支援教育部>

特別な支援を必要とする園児・児童生徒に切れ目のない支援を提供できるように取り組みを進めている。特別支援教育指導員の幼稚園・保育園・小中学校への派遣や、発達障害や合理的配慮に関する研修会を行うことで子どもたちを支えている。特別支援学級交流会では阿久比中学校の特別支援学級在籍生徒が出身小学校を訪問し、母校の特別支援学級児童とクイズやバウンドボールづくりをした。中学生は、小学生に作り方の手順や方法を教えたり、優しく話しかけたりすることを通して、状況に応じたコミュニケーション能力を高めることができ、小学生は中学生との関わり合いを通して、中学校への期待感を高めたり、不安感を軽減したりすることができた。8月には、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者を対象とした保護者交流会を開催した。中学校の特別支援学級や中学卒業後の進路についての話の聞いたり、保護者同士や保護者と教師との交流を深めたりすることができた。また、「読むことへの困難について」というテーマで南部小学校特別支援コーディネーターによる講話を実施し、文字の捉え方や支援の在り方を学ぶ機会となった。



【クイズ大会の様子】【できあがったバウンドボール】

#### 【自己評価・今後の課題】

- ◇今日的課題に取り組みながらも、コロナ禍で取り組むことができなかった直接的な関わりを積極的に推進し、連携を図りたい。
- ◇活動に制限があった期間に薄れかけてしまっている「幼保小中高一貫教育」に対する意識をもう一度高め、阿久比町全体が学び舎となって、子どもに関わることを目指すための啓発を行いたい。

施策名	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
-----	----------------------

(担当：学校教育課 庶務係)

【施策の概要】

- 町内の4小学校1中学校の校舎及び施設は、建築後40年から50年経過しているものが多数あり老朽化による問題が多発している。子どもたちの安全を第一に考え必要な整備や改修工事、修繕等を順次行っている。阿久比中学校の生徒増加についても様々な整備も順次行っている。
- 子どもたちが授業を受けるための安全で快適な教育環境を整備するため、既存照明器具のLEDへの切替の推進やICT機器をはじめ、必要な設備や備品等の導入を進めている。

【工事等における令和4年度の取組状況】

- 小学校校舎等改修工事（主なもの）
  - 東部小学校保健室空調機器改修工事 990,000円
    - ※ 保健室空調機器更新のため実施
  - 英比小学校普通教室仕切りパーテーション設置工事 816,970円
    - ※ 特別支援教室を2分割するため実施
  - 英比小学校普通教室インターホン設置工事 251,900円
    - ※ 特別支援教室を2分割し、各教室にインターホンを設置するため実施
  - 英比小学校普通教室照明スイッチ等設置工事 225,500円
    - ※ 特別支援教室を2分割し、各教室で照明の操作が出来るよう実施
  - 英比小学校屋内運動場等防水工事 7,150,000円
    - ※ 体育館玄関等屋根雨漏りの修繕対応および防水改修のため実施
  - 英比小学校2階廊下サッシ改修工事 1,210,000円
    - ※ 北校舎2階廊下側サッシ5か所の改修のため実施
  - 南部小学校校長室会議室空調機改修工事 1,199,000円
    - ※ 校長室会議室の空調機器更新のため実施
  - 南部小学校屋外運動場木製遊具撤去工事 437,800円
    - ※ 老朽化した木製遊具での事故防止のため、撤去を実施
- 各小中学校屋内運動場照明器具借上（4小学校分）7ヵ月分 1,091,860円（7年合計 13,102,320円）
  - ※ 屋内運動場照明のLED切替のため実施
- 中学校校舎等改修工事（主なもの）
  - 阿久比中学校校舎増築等工事 410,366,000円

※ 生徒増加への対応のため実施（10教室） 国庫補助事業として150,778,000円が交付。



（写真：阿久比中学校新校舎）

**阿久比中学校第2職員室通信設備等設置工事 759,000円**

※ 旧会議室を第2職員室に変更したため、インターネット回線等整備の実施

**阿久比中学校普通教室空調機器改修工事 878,900円**

※ 普通教室空調機器更新のため実施

**各小中学校屋内運動場照明器具借上（中学校分）7カ月分 360,360円（7年合計 4,324,320円）**

※ 屋内運動場照明のLED切替のため実施

【工事等において、令和4年度に契約し、令和5年度に繰越したもの】

○小学校校舎等改修工事

**英比小学校南西校舎外壁改修工事 21,054,000円（令和5年9月末完了予定）**

※ 普通教室棟の外壁改修（爆裂等外壁破損等の補修含む）を実施

○中学校校舎等改修工事

**阿久比中学校武徳館吊り天井改修工事 14,298,900円（令和5年9月末完了予定）**

※ 生徒の安全を守るため、吊り天井の撤去および断熱材設置を実施

【ICT機器等導入に関する令和4年度の取組状況】

○校務用サーバー、回線関係（主なもの）

**各小中学校校務用サーバー等機器借上 3カ月分 7,796,580円（5年合計 155,931,600円）**

※ 各校のネットワークシステムの更新、教職員PC226台およびタブレット196台の更新

**各小中学校教育用回線新設工事 715,000円**

※ 各小中学校普通教室・特別教室の通信ネットワーク環境改善のため実施

**各小学校電子黒板等購入 16,544,000円**

※ 小学校1～4年生普通学級全クラスに電子黒板合計47台を導入

**阿久比中学校教育用タブレット借上 1カ月分 58,344円（5年合計 3,500,640円）**

※ 阿久比中学校生徒増に対応するため、タブレット52台を導入

**阿久比中学校充電保管庫購入 240,900円**

※ 阿久比中学校クラス増に対応するため、タブレット用保管庫1台を導入

## 小中学校新規電子黒板等購入 1,648,900 円

- ※ 英比小学校、阿久比中学校クラス増に対応するため、電子黒板を英比小学校に3台、阿久比中学校に1台を導入
- ※ 英比小学校のクラス増に対応するため、タブレット用保管庫1台を導入

### 【自己評価・今後の課題】

#### ◇今後の工事計画について

老朽化により、校舎の外壁やサッシ等の改修を必要とする箇所が増え、今後多額の工事費が想定されることや、近年の世界情勢（価格高騰等）により各項目費用の増大が予想される。令和5年度内に施設整備計画（長寿命化計画）を更新するが、経年劣化に加え、20年後には各校舎が建築後80年が経過すること、厳しい財政状況や学校整備基金の積立額等を考慮した上で今後の工事計画を検討する必要がある。

#### ◇大規模改修工事について

学校におけるトイレ改修工事は、別紙（表1）のとおり乾式化・洋式化工事が進んでおり、各校舎の工事は全て完了したが、体育館トイレについては別紙（表2）のとおり複数校で未着手の状態である。こちらについても優先順位と財政状況を考慮しつつ、改修工事を確実に進めていく必要がある。

また、空調設備については、近隣市町に先駆けて普通教室への設置を完了し、特別教室についても別紙（表3）のとおり整備を進めている。

なお、各校に設置されているプールについても老朽化が進んでおり、今後も継続して使用する場合はプール槽のみならず、ろ過装置等機器を含め、多くの改修工事が予想される。

今後も個別施設計画（長寿命化計画）に基づき優先順位の高い箇所から順次改修し、快適な環境の整備に努めたい。

#### ◇G I G Aスクール構想に係る I C T機器等について

G I G Aスクール構想に関わる回線や機器整備については、令和2年度までにインターネット無線LAN回線を整えるとともに全児童生徒への配布が完了し、また令和3年度までに全常勤教員への配布が完了した。令和4年度には更なるネットワーク回線強化のための回線追加工事を実施したほか、翌年度クラス増に対応するためのタブレットや電子黒板等の追加導入を実施し、児童生徒の学びのための環境を整えることが出来た。但し、特別支援教室への電子黒板の未導入等の課題も残されており、各校からの要望や財政状況を考慮しつつ、導入を検討していきたい。

上記以外にも、今後も子どもたちの安全で快適な教育環境の確保のための教育委員会としても学校現場に足を運ぶことで、問題箇所の早期発見に努めていきたい。また、

他市町の先進事例を常に学び教育環境の充実のために努めていきたい。

(表1) 各校校舎トイレ改修状況 (○ 改修済 △ 一部改修)

東部小			英比小			草木小		南部小		阿久比中	
北校舎	南校舎	新校舎	北校舎	南校舎	新校舎	北校舎	南校舎	北校舎	南校舎	北校舎	南校舎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

※中学校北校舎は乾式化済みであるが洋式化されていない。

(表2) 各校体育館トイレ改修状況 (○ 改修済 △ 一部改修 × 未改修)

東部小	英比小	草木小	南部小	阿久比中
○	○	×	×	△

※中学校は一部女子トイレのみ洋式化されている。

(表3) 各校空調設備導入状況 (○ 導入済 △ 一部導入)

	東部小	英比小	草木小	南部小	阿中
普通教室	○	○	○	○	○
その他 特別教室等	△ (R5設計)	△	△ (R5設計)	○	○

※その他特別教室等については、図書室、音楽室、保健室、職員室等に設置しているが、理科室・図工室・家庭科室等には設置されていない。

施策名	3 特別支援教育の充実
-----	-------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

**【施策の概要】**

- 特別支援教育指導員が各学校を巡回し、保護者との面談や専門的立場から教員の支援・指導を行う。
- 学校支援員を配置し、特別支援学級在籍児童等の学習及び生活面での支援を行う。
- 障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供を行う。

**【令和4年度の取組状況】**

- 幼稚園・保育園から報告してもらっている特別な支援を必要とする児童について、学校教育課職員による巡回に加えて特別支援教育指導員による巡回を行い、専門的見地から見た意見を教育支援に生かしている。
- 子どもの就学について悩む保護者に対して、積極的に特別支援教育指導員との面談を実施し、必要な情報を提供することで、保護者の不安解消と就学に関する助言を行った。また、就学先を検討する時期については柔軟に相談対応ができるよう、次年度の巡回形態について再検討を行った。

年度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
特別支援学級数(学級)	1 3	1 7	1 9	2 2	2 6	2 8
特別支援学級在籍児童生徒数 (各年度4月1日現在・人)	6 0	7 4	8 7	1 1 5	1 3 8	1 4 1
支援員数(人)	1 7	1 9	2 2	2 7	2 7	2 7

**【自己評価・今後の課題】**

- ◇本町の特別支援教育において、特別支援教育指導員は幼稚園・保育園・小中学校職員への助言、保護者との面談や学校支援員への研修など、重要な役割を果たしている。また、子育て支援課所属の特別支援教育指導員との情報共有も定期的に行われており、幼保小中を通して児童生徒を支援できるのが強みである。
- ◇特別支援学級数の増加により、経験の浅い教員が担当となり、対応に不安を抱えていることも少なくない。児童生徒個々の特性に合わせた対応力の向上を図るため、特別支援教育指導員による教員への支援は依然として必要性を増している。
- ◇子どもの就学先決定は保護者にとって大きな決断となるが、その決断が前向きな決断となるよう、幼保小中がそれぞれの立場において適切な情報提供や声掛けなどを行うとともに、町全体で教育支援に対する意識の共有を図る機会を設ける必要がある。

施策名	4 安全安心な学校給食センター運営
-----	-------------------

(担当：学校教育課 給食係)

#### 【施策の概要】

- 学校給食センター「AGUMOGU」（令和2年8月供用開始）において、学校給食衛生管理基準の衛生管理の下、安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供する。
- アレルギー対応除去食(令和3年9月提供開始)について、卵・乳のアレルギーを有する園児、児童、生徒を対象に安全性を確保し、提供する。

#### 【令和4年度の取組状況】

- 給食調理及び配送等委託業務を締結している業者と連携を図り、小学校・中学校に191回、幼稚園に189回、保育園に222回安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供した。
- アレルギー対応除去食提供については、学校・園への周知、保護者との面談、事前の準備、調理・配送シミュレーションの実施など万全の体制で実施した。保護者との面談は毎月実施し、園児、児童、生徒の現状を確認し、保護者の思い、家庭での試みも聞き取りをして、少しでもアレルギー症状がよくなるように助言等している。提供実績は、年間45回・延べ260人、月平均4.5回・26人。
- 給食費未納について、給食費は「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」より公債権と解釈し、未納から5年経過の消滅事由により、5年前までの未納給食費920,470円（小学校22件、中学校17件）を不納欠損とした。

#### 【自己評価・今後の課題】

- ◇給食は常に量、質、栄養バランスを考え提供している。最近の物価高騰は賄材料費（食材費）への影響も大きく、令和4年9月から令和5年3月まで国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、賄材料費10%相当分を町費負担とした。賄材料費は、給食費として保護者負担としているため、給食費の増額なく給食を提供できた。令和5年度においても保護者負担による増額はなく、賄材料費10%相当分を町費負担としているが、今後の物価状況によっては、給食費について検討しなければならない。
- ◇アレルギー対応除去食は、現在卵と乳のアレルギーに対応しているが、他の食物アレルギーを有する園児、児童、生徒もいる。今後、除去食対応の食数が増加傾向となった際もこれまで同様の安全性の確保が必要である。食物アレルギーを有する対象者の治療方針に基づき、対象者の状況、成長を踏まえ、家庭との繋がりも保ちな



から個々に沿ったアレルギー対応をどのように行うべきかが課題である。

◇業務委託について、当初の委託期間3年間で令和5年7月31日で終了するため、次の委託業者をプロポーザル方式により選定した結果、これまでと同じ業者に決定した。期間は令和5年8月1日より令和10年3月31日まで。

### 通常給食と除去食の様子 (卵除去食の日)

写真（左側）：専用容器に入った状態  
 通常食：にら卵汁（左）  
 にら卵汁の卵除去食／幼保用（中）  
 にら卵汁の卵除去食／小中学校用（右）

写真（右側）：盛り付けた様子  
 通常食：にら卵汁（左）  
 にら卵汁の卵除去食（右）

### 通常給食と除去食の様子 (乳除去食の日)

【通常食】

【除去食】

乳不使用のパン 通常食のパン  
 小学校用 中学校用

小中学校用 幼保用

通常食：①サンドイッチパンズパン（左）  
 ②フルーツのヨーグルト和え（左）  
 乳除去食：①乳不使用パン（右上）  
 ②フルーツのヨーグルト和えの乳除去食：（右下）

施策名	5 生涯学習推進事業
-----	------------

(担当：社会教育課 社会教育係)

### 【施策の概要】

阿久比町では、「阿久比町生涯学習推進計画」（令和2年3月策定）に基づき、“学びふれあい はぐくむ未来”を目標に掲げて生涯学習推進事業を実施している。住民ニーズの多様化、学校週5日制に対応しながら、子どもから大人まであらゆる世代を対象とした魅力ある学習の機会の提供に努めている。

### 【令和4年度の取組状況】

#### <町民講座>

あらゆる年代層を対象に、普段生涯学習に触れる機会が無い人にも参加してもらえよう、著名人を招いての講演会を隔年で実施している。10月にタレントの麻木久仁子氏を講師に招き、「今を生きることとは」をテーマに、自身の仕事や病気の経験から学んだことなどを話していただいた。子育て世代も参加がしやすいように、託児受付を行ったところ、2人の利用があった。コロナ禍により定員を縮小しての開催となったが、146人が参加され、生涯学習の機会を提供できた。

#### <リーダー研修会>

町内を中心に現在、団体の指導者として活躍している人、または目指す人を対象に、各団体の活動をより活性化し、さらにはまちづくりのリーダーとして活躍する人材育成を目的に、隔年で実施している。令和4年度は3月に開催し、当時のスポーツ協会会長の武田宏氏が講師を務め、自らの経験をもとに、「リーダーとして最後に成功する人の考え方」、「リーダーとしての実は尊敬されない人」など各種内容を話していただいた。各団体長をはじめとする参加者47人中9割近くが「参考になった(大いに・ある程度)」と回答しおおむね好評だった。

また、「頑張っていく上で、背中を押してもらった」など、前向きな感想も複数寄せられ、今後の活動への意欲を高める機会を提供できたと考える。



#### <男女共同参画講演会>

男女共同参画啓発の一環として、あぐい女性の会との共催で毎年実施している。2月に一般社団法人中部SDGs推進センター副代表理事の百瀬則子氏を講師に招き、「暮らしの中のSDGs」をテーマに講演会を開催した。講師の選定や講演会の運営方法などの

当日までの準備は、あぐい女性の会が中心に進めた。当日は約60人の参加があり、SDGsについて身近に考えてもらう機会が提供できた。今後もあぐい女性の会との連携で実施することで、町民の男女共同参画意識の高揚を図る。

#### <こどものまちあぐいっこ Town>

子ども自身がまちづくりを考えることで主体性や自主性を育て、異年齢間での企画運営や就労体験を通して協調性や課題発見力を育てること、さらに社会の仕組みを体験しながら学ぶことで社会性を育てることを目的として実施している。令和4年度は12月10日（土）・11日（日）（両日ともに正午～午後3時）に中央公民館本館（全館）で実施した。



【こどものまち】

なお、本事業は平成28年度より開催されているが、途中団体単独事業となった後、令和2年度以降、町より子育て支援グループむぎ・むぎに運営を委託する形をとっている。

運営にあたり、小学4年生以上の25人のこどもスタッフと9人の大人スタッフが計9回の会議に集まり、どのようなまちにするか、店や仕事の構想等、こどもが主体となって話し合い、準備を進めた。大人スタッフは、口出しないことを意識し、こどもの主体性を伸ばすことを大切に、準備を進めた。

むぎ・むぎ代表の植田千代美氏は、「はじめ自分の思いを口にできなかった子どもが、思いを伝え、思いを共有できた時の笑顔を見ると、やりがいを感じる」と話し、本事業がこどもたちにとって、様々な経験を重ね成長する場となっていると考える。

また、当日は2日間で465人の子ども、関係者の来場があり、大変なにぎわいだった。参加した子どもは「働いて品物を買う楽しさや税金を納めることを楽しく学べた」と話してくれた。

なお、こどもスタッフ募集の周知は、むぎ・むぎが作成したちらしの小中学校昇降口等への配置、広報あぐいにより行ったが、今後こどもスタッフが固定化しないように、教諭を含めチラシを広く配布し情報提供するなど、工夫していきたい。

#### 【自己評価・今後の課題】

- ◇こどものまちあぐいっこ Town 事業は、町単独運営は難しく、子育て支援グループの運営に支えられている。今後も相互連携し、参加者の満足度を高め、より魅力ある事業にしていく。
- ◇参加者に世代の偏りがみられ、こどものまちあぐいっこ Town 事業以外は若い世代の参加が少ない。子育て世代が増えた本町において、若い世代に魅力ある内容となるよう工夫していくことが必要である。

施策名	6 多様な学習機会の提供
-----	--------------

(担当：社会教育課 公民館係)

【施策の概要】

○公民館の役割である「集う」「学ぶ」「結ぶ」機能を果たすため、また、町民の生きがいづくり、知識教養の向上、健康増進を目的として、各種講座・教室を開講する。

【令和4年度の実施状況】

○各部屋の利用定員や飲食等において制限のある中ではあったが、生きがい教室・講座を13講座実施した。

対象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
一般	1	パソコン教室「基礎技能」	8	10人	4人
	2	川柳講座	7	20人	15人
	3	春の手作りお菓子講座	1	12人	12人
	4	ソフトピラティス	4	20人	25人
	5	パソコン教室「ワードの基礎」	9	10人	8人
	6	狂俳教室	4	10人	14人
	7	夏休み子ども教室「海の生き物観察」	1	12人	12人
	8	パソコン教室「エクセルの基礎」	7	10人	8人
	9	秋の手作りパン講座	1	12人	12人
	10	美術講座「美術館へ行ってみよう」	2	12人	12人
	11	陶芸教室	2	10人	6人
	12	よりよく生きるための終活講座	2	10人	9人
	13	声の出し方基礎講座	3	10人	5人

○学習したい方や自分の得意なことを活かして教えたい方が、自ら企画するマイスタディ講座・マイプロデュース講座を5講座実施した。

対象	番号	名 称	回数	募集定員	受講者数
一般	1	誰でもできる楽しいマジック講座	10	10人	8人
	2	はじめての韓国語会話	5	10人	6人
	3	タヒチアンキルト	5	10人	11人
	4	陶芸講座「干支のめし碗と箸置きづくり」	5	10人	6人
	5	リラックスヨガ	5	15人	18人

○阿久比町少年少女発明クラブを開講し、地元の民間企業の協力を得ながら、小学生及び中学生のクラブ員30人が、年間19回にわたり木工、自然エネルギーの学習と実習、プログラムの学習、ペットボトルロケット製作、電気工作、施設見学等を行った。

**【自己評価・今後の課題】**

◇アグピアホールの利用が増えてきたことに比例して移動階段席の利用回数も増えてきている。移動階段席の設置と撤去は主に公民館職員が行っており、作業時間は設置と撤去各1時間程度かかる。令和4年度は設置と撤去合わせて年間約90回作業を行ったため、約90時間を費やしている。アグピアホールの利用が増えるのは喜ばしいが、教室・講座を始めとした他の業務に従事できる時間が減っていくのがもどかしい。移動階段席を扱える職員を増やし、設置撤去作業を担当課単独または公民館職員が補助する形で行えるよう体制を整えていきたい。

◇公民館講座は主に平日の日中に開催しているため、対象者が限られている。就労している方や学生を対象とした講座を開講するためには、土日開催の講座を増やすことも検討していかなければならない。

◇阿久比町少年少女発明クラブは平成19年の発足時から公民館係が事務局として従事しており、活動資金や人的な面においても民間企業の協力を得ながら運営している。活動内容の企画と準備、会議の開催等、事務局の負担が大変大きい事業ではあるが、子どもたちにとっては、ものづくりの楽しさを知り、自由な発想を育てる良い機会となっているため、事務の効率化ができる部分を探しながら続けていきたい。

施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
-----	-----------------

(担当：社会教育課 図書館係)

### 【施策の概要】

- 魅力ある図書館づくりを推進するために自発的な学習意欲に応えられるような蔵書や資料などの充実を図り、誰でも気軽に利用できる施設を目指す。
- 魅力ある図書館づくりのために、講座の開催、展示ホールを生涯学習グループの成果発表の場とするほか各種事業を開催する。

### 【令和4年度の取組状況】

各種講座（文学講座、童話作法講座、読書指導講座、風土記講座、子ども向け教室等）、年間を通して土・日・祝日に行う読み聞かせ等の行事の主なものは、以下のとおり。

- 保育園・学校との連携
  - ・4月の子ども読書の日（4月23日）にちなみ、保育園幼稚園等の園児が図書館見学と貸出体験を行い、読書指導グループぶんぶんの読み聞かせを行った。
  - ・6月には、草木小学校3年生（45人）が、11月には、英比小学校2年生（135人）が、図書館探検（見学）と図書館研究（質問）を行った。
- 図書の有効利用
  - ・図書リサイクル<sup>注1</sup>フェア（11月10日～11月20日）を行い保育園、児童館、小学校、中学校等の公共施設に優先的に無償で譲渡した。また、一般の希望者へも無償で譲渡を行った。
- 作品の展示
  - ・展示ホールを小中学校・高等学校はじめ、各方面で活動しているサークルの方々に展示してもらい、多くの来館者に見ていただくことができた。
- 青空図書館（阿久比プレイガーデンプロジェクト事業）
  - ・春（5月）と秋（9月）1日ずつ開催した。ふれあいの森に図書・雑誌を800冊運び、ブックトラックに並べ、青空の下での読書をしてもらい、図書館活動のPRを行った。
- おたのしみ会
  - ・7月には、事前申し込みの親子40組を対象におたのしみ会を行った。読書指導グループぶんぶんの協力で、大型絵本の読み聞かせ、ペープサート、人形劇を実施した。
- 読書週間事業
  - ・小学生が図書館司書の仕事を体験する「あなたも図書館司書」を行った。  
また、読書カードを配布して、20冊読書達成した子どもには、手作りのガチャを使用し粗品（鉛筆や消しゴム）をプレゼントした。

【自己評価・今後の課題】

- ◇町民や町外の利用者の方々の読書活動を推進し、町民の生涯学習活動にも貢献できた。
- ◇図書館資料<sup>注2</sup>については、新刊図書を購入と除籍をバランスよく行い、新しい情報を提供することができた。今後も利用者の要望に耳を傾け、バランスの良い蔵書を心掛ける。
- ◇展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として利用され、町の文化活動発展に役立っているため今後も続けていく。
- ◇魅力ある図書館のために講座やイベントの開催がある。開催にあたっては幅広い年代層が参加できるように努め、町民の生涯学習活動にも貢献していきたい。また子ども読書活動推進計画の推進に努める。
- ◇図書館利用者<sup>注3</sup>については、これまでどおり感染症予防対策に努めながら、来館者の増大を図れるよう魅力ある図書館づくりを推進していく。
- ◇阿久比町立図書館の新型コロナウイルス感染症予防対策（令和4年度実施）
  - ・体温 37.5 度以上若しくは体調不良の者の入館不可（体温が不明な場合は検温する）
  - ・マスクの着用と手指消毒の徹底
  - ・人と人の間隔の確保
  - ・利用者による使用後の机、椅子等の消毒
  - ・換気の徹底
  - ・一般閲覧室、児童室、参考郷土資料室、学習室等座席数の削減

(注1) 図書リサイクルの内訳

(単位：冊)

資料提供数	学 校	保育園等	個 人	計	リサイクル率	残 数
4,633	212	218	3,123	3,553	76.7%	1,080

(注2) 図書館資料

蔵書増減数

(単位：冊)

	3 末蔵書数	購入	寄贈等	除籍	4 末蔵書数
図書資料	111,246	3,794	110	3,336	111,814
視聴覚資料	7,739	133	2	1	7,873

(注3) 図書館利用者

年 度	入館者数	貸出冊数	貸出人数
H30	89,030 人	194,740 冊	40,666 人
R 1	89,390 人	189,377 冊	38,826 人
R 2	59,520 人	141,446 冊	27,976 人
R 3	80,863 人	205,417 冊	40,006 人
R 4	81,047 人	201,825 冊	39,861 人

リサイクルフェア



青空図書館



小学生の図書館見学





施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
-----	---------------------

(担当：社会教育課 体育係)

【施策の概要】

- 阿久比スポーツ村、町内各グラウンド、丸山武道場、白沢区民館、ふれあいの森などのスポーツ施設の整備に努め、全ての町民が安全にスポーツに親しめる環境整備を推進し、利用促進を積極的に図る。

【令和4年度の実施状況】

- 阿久比スポーツ村交流センターとして令和4年4月にオープンし、センター内のプールについても、夏季の間プレオープンした。この事にあわせて各種工事や備品購入を行った。
- 阿久比スポーツ村の個別施設計画を策定した。
- 阿久比スポーツ村の受変電設備の更新工事を行った。また野球場のグラウンド整備工事、通路舗装工事を行った。
- ふれあいの森体育室の改修工事およびLED化を行った。

スポーツ村利用状況

施設名	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
陸上競技場（団体）	件数	272	286	347
	人数	14,571	15,229	19,281
陸上競技場（個人）	人数	1,642	2,471	2,067
野球場	件数	187	248	257
	人数	12,701	17,035	19,768
室内練習場	件数	160	176	238
	人数	5,861	9,283	13,596
交流センター(団体)	件数	—	—	591
	人数	—	—	11,201
交流センター(個人)	人数	—	—	547
トレーニング室	人数	1,301	2,559	3,307

ふれあいの森利用状況

施設名	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
パターゴルフ	人数	1,543	1,786	1,362
デイキャンプ	件数	45	3	51
	人数	493	23	457
体育室	件数	782	883	872
	人数	11,409	11,706	11,306
入園者数	人数	64,692	68,897	75,921

グラウンド利用状況

施設名	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
白沢	グラウンド	件数	237	307	296
		人数	9,127	14,448	16,439
	テニスコート	件数	1,072	1,504	1,594
		人数	7,347	15,485	18,299
	多目的広場	件数	0	1	1
		人数	0	100	120
板山グラウンド	件数	161	210	229	
	人数	10,189	14,855	16,182	
草木グラウンド	件数	256	300	325	
	人数	6,463	8,722	12,179	

※参考（建設環境課都市計画係より）

施設名	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
丸山公園	運動広場	件数	278	343	341
	テニスコート	件数	1,635	2,206	1,929

※丸山公園は昼間・夜間（照明）と区分があるが、他のグラウンドと比較するため、昼間のみの件数とする。人数の集計は行っていない。

### 【自己評価・今後の課題】

- ◇ 施設の老朽化が進んでいるため、安全な環境でスポーツを行うことができるよう、修繕、工事等を行った。しかし、どの施設においても、突発的で重要箇所の修繕が近年続いており、抜本的な改修工事の時期を迎えている。予算には限りがあるので、施設全体を良く把握し、優先順位をつけて継続的な改修工事が必要と考える。

阿久比スポーツ村については、全体的に老朽化が著しい。個別施設計画の結果からも、今後10年以内の長寿命化改修または建替えが必要である。今年度再整備計画を策定し、計画的な整備や改修を行っていききたい。また今後も財政状況が厳しい中で施設の維持に努めていく必要があるため、国や県の補助金、スポーツ村整備基金、スポーツ振興くじ助成金を活用した整備、施設の利用促進を積極的に図っていききたい。

阿久比スポーツ村交流センタープール



### Ⅲ 学識経験者の意見

#### 教育委員会事務評価委員会報告書

# 令和4年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 竹内 淳 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、令和4年度の阿久比町教育委員会事務について、令和5年6月23日、7月14日、7月21日と3回の委員会を開催し、点検・評価を行った。

以下に、評価結果を報告する。

令和5年8月7日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 田中 悦夫（元小学校長）

吉住 まり子（元あぐい女性の会会長）

水谷 正治（元小学校長）

## 評価結果

<p>施策名</p>	<p>1 幼保小中一貫教育の推進</p>
<p>○ コロナ禍のために実施できなかった幼保小中接続に関わる各種の取り組みをこれまで行ってきた内容を踏襲するだけでなく、さらに充実したものとなるよう工夫されたことは高く評価できる。今後も交流を積極的に推進することで、先生方の意識を高め、幼保と小・小と中の接続をなめらかにしていただきたい。</p> <p>○ 〈啓発関係部〉「学びウィーク」も児童に呼びかけて学習に取り組ませるだけでなく、最終日に学習の成果を確認するテストを各学校で行い、評価することで児童の励みに繋がっているように思う。</p> <p>○ 特別支援教育に関しても、指導員が児童生徒や保護者・教師の不安に寄り添い、多岐にわたる指導にも感謝している。 また、支援学級交流会の設定や保護者交流会などを通して、三者の精神の安定や意識の改善へと繋がっていくことを願う。</p> <p>○ 町の広報誌を活用した町民へのプロジェクトの啓発は大変効果的と思われるので、大いに進めていただきたい。</p>	
<p>施策名</p>	<p>2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進</p>
<p>○ 児童生徒が安全で快適な学校生活が送れるよう、照明器具・空調機器・ICT機器の整備、導入を進めていただいていることは評価できる。今後は児童生徒が活用しやすくするためのサポート体制を充実していただきたい。</p> <p>○ 校舎内のトイレに関しては、ほぼ改修が済んだということだが、障害のある児童生徒だけでなくLGBTにも対応できるような多目的トイレの必要性が高まっている。各校に導入できるよう検討していただきたい。 また、体育館のトイレ改修が完了していないのが気がかりである。児童生徒の利用に留まらず、町民への社会体育等への開放や、災害時での避難場所になることも考えて、早急に対応していただきたい。</p> <p>○ 今後さらに老朽化が進むであろう学校プールの維持管理、もしくは水泳指導における外部施設の利用、業者委託等の計画も進めていただきたい。</p>	

<p><b>施策名</b></p>	<p><b>3 特別支援教育の充実</b></p>
<p>○ 特別支援教育指導員による各校への巡回・指導・助言が児童生徒の保護者や担当職員の方々にとって、とても重要な役割を果たしていることが分かる。</p> <p>若い教員が増え、特別な支援を要する児童への対応に困る事例が増えている。特別支援教育指導員からの助言や指導を受けやすくするため、巡回指導の充実をお願いしたい。</p> <p>○ 特別支援学級在籍児童生徒数と支援員数の表では、学級在籍児童生徒数は年々増加しているにもかかわらず、支援員数は3年間据え置きとなっている。単純に計算しても一人の支援員で5名以上を担当することになる。支援員の増員についてお願いしたい。</p> <p>○ 今後の課題として、「町全体へ教育支援に対する意識の共有を図る必要がある」とあるが、確かに周知の必要があると思う。</p>	
<p><b>施策名</b></p>	<p><b>4 安心安全な学校給食センター運営</b></p>
<p>○ 食材費や燃料費の高騰に伴って大変切り詰めた献立を強いられる中、安全安心でバランスの取れた給食が提供できるよう、たゆまぬ努力をされていることに心から敬意を表したい。</p> <p>○ アレルギー対応除去食提供についても、単に除去給食を提供するだけでなく、保護者との面談を通して個々に沿ったアレルギー対応に関する指導助言をされていることは高く評価できる。</p> <p>さらに、町と学校との連携により「給食費未納者ゼロ」など、保護者の心情に添った対応を今後も期待している。</p> <p>○ 給食によって、子どもたちに必要な栄養を維持することからも「給食費」のあり方、負担等について関係各位で審議されたい。</p>	
<p><b>施策名</b></p>	<p><b>5 生涯学習推進事業</b></p>
<p>○ コロナ禍における万全な対応策をとられた上での各種の講座、研修会、講演会等の成功は、企画検討や事業運営をされてきた方々の努力の成果であり、改めて評価したい。</p>	

- 参加者の動員について苦慮されているかと思うが、「町民講座」のように知名度があつて魅力的な講師や内容であれば参加者は自ずと増えるのではないか。講師の選定については早めの対応が大事だと思う。
- 〈こどものまちあぐいっこ Town〉は、2 日間で 465 人もの子どもが参加したとのことで、とても素晴らしい行事である。子育て支援グループ「むぎ・むぎ」さんに運営を委託されているとのことだが、色々な団体との相互連携もとても大切だと思う。今後も子どもたちが参加してよかつたと思えるような企画をお願いしたい。

<b>施策名</b>	<b>6 多様な学習機会の提供</b>
------------	---------------------

- コロナ禍でいろいろな制限がある中で、13 もの「生きがい教室・講座」を実施されたこと、5 つの「マイスタディ講座・マイプロデュース講座」の実施に関わられたことは大いに評価できる。
- 【自己評価・今後の課題】から公民館職員の方のご苦勞が伝わってくる。少ない職員数で公民館業務をこなしていくことは想像以上に大変なことだと思う。過去の前例や数値にとらわれず、業務の見直し、改善を図る必要があるのではないか。  
また、アグピアホールの利用が増えていることは大変喜ばしいことである。しかし、設置や撤去の作業ができる職員が少なく負担を強いられているようである。公民館職員に限らず、作業ができる人材の確保をお願いしたい。
- コロナ禍も落ち着き、公民館講座への関心も高まる中、講座数や受講者数も増加し、内容・世代ともに多様化が見られる。今後とも幅広い内容と持続性のある取り組みに期待している。

<b>施策名</b>	<b>7 魅力ある図書館づくりの推進</b>
------------	------------------------

- コロナウイルス感染症予防対策が徹底され、利用者数もコロナが流行する前の年度の数値に戻りつつあるのは職員の方々の努力が実を結んでいる証拠だと評価できる。
- 恒例の「おたのしみ会」や読書週間など、毎年アイデアと工夫が凝らされており、魅力ある図書館づくりを目標に取り組まれていることを評価したい。今後も継続していただき、子どもたちの活字離れを防ぐことに繋がるようお願いしたい。



○ 園・学校との連携により、本に親しむ機会の設定や幅広い年代に対して生涯学習への機会となることを期待している。

**施策名**

**8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進**

○ 「スポーツ村利用状況」で、前年度を上回る利用者数が報告されているのは感染症予防対策が徹底され、安全安心が確認されたことが要因だと思われる、大いに評価できる。

○ 「ふれあいの森利用状況」ではパターゴルフの利用者が 420 人ほど減少しているのは残念だが、懸念されていたデイキャンプの利用者が令和 3 年度から 430 人以上増加したことは良かった点である。

○ コロナ禍でありながら各施設とも安定的な利用状況であったことから、今後も更に利用者数は増えてゆくと思われる。各施設とも老朽化の懸念も出てきていることから、更に安心安全な施設の維持管理が望まれる。

○ 各小学校のプールの老朽化が進んでおり、改修等に多額の費用が必要である。水泳指導で、阿久比スポーツ村交流センターのプールを活用することも検討すべきではないだろうか。それを含め、交流センターの今後の魅力ある有効利用について期待している。